

無題



PUB &





山手通 1  
イトプラザ  
41-0980  
42-1925  
M~12:00P.M

飲んで、食べて、踊って、  
楽しくおしゃべりのできる  
お店「エトランゼ」  
パーティにご利用ください  
グラタン ¥4000







POËTIQUE

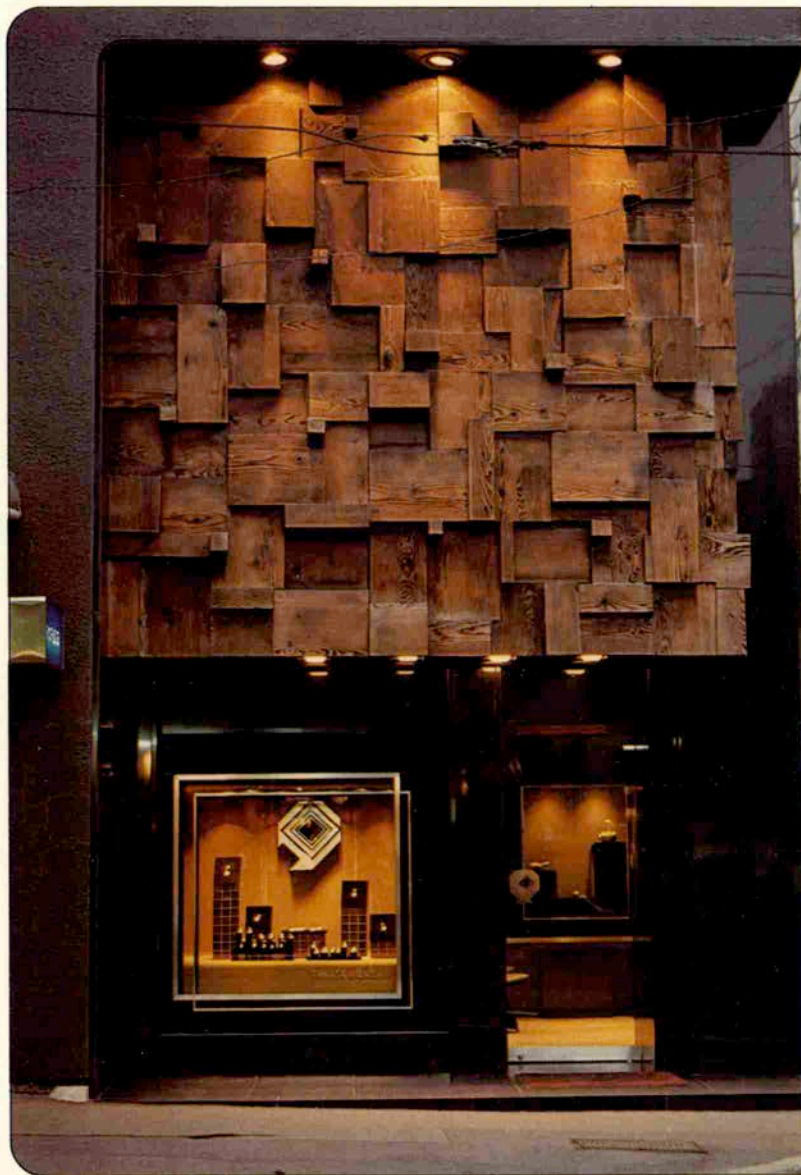


KOBE

まさ

■神戸・さんブラザ  
■神戸・さんちか  
■阪急ファイブ ■千里  
■宝塚 ■泉北 ■高槻





TAKATA JEWEL

坂のトア・ロードを

新しく彩る

光雅なウィンドウ



トア・ロード

**タカタ宝石**

〒650

神戸市生田区北長狭通 2-161-1

tel 078・391・4105

## New life lady in Kobe

## 秋の公園 さわやかな風

稲岡 紀久子さん

(カネボウ パルエーシー社長 稲岡必三氏夫人)

イチゴののったシュガーレスケーキやナッツケーキが大好きな子供たちはケーキ通。その子供たちを乗せて、ご主人と運転を交代しながらのドライブを楽しんでいるという奥様は、お茶やお華、大きな熊さんやうさぎのぬいぐるみを作ったり、たいへんに家庭的。

緑の公園に赤い花、秋の空の下に映えた奥様。

《ナッツケーキ》



お菓子の  コブンキ  
神戸・大阪・京都・東京



# 11月 目次

これは神戸を受する人々の雑談です  
あなたのくらしに美しい夢をおくる  
神戸を訪れる人にはやさしい道しるべ  
これは神戸っ子の手帖です

香紙 / 小泉良平

セカンドカバ / COLLECTOR (11) / 中西 勝

5 神戸っ子 / 安里 一 / 渡邊秀一郎

11 ある集い / 神戸東ローターアクトクラブ

14 神戸っ子 / 三ツ子 / 相 和

16 神戸のディール / 20 / 石阪孝生 / カメラ・杉尾安士郎

25 わたしの意見 / 原田俊良

27 蘭語三題 / 藤本正巳 / 高山周子 / 木西敏巳

30 ある集い / その足あと / 神戸東ローターアクトクラブ

32 運動すいそう / 神戸の女は日本一 / 星川良輔

34 すいそう / 金山三三 / 柳松 實

36 キャンペーン / ファッション 都市神戸を考ふる (4)

室談 / 木村重信 / 元永定正 / 石阪孝生 / 藤井まつ子 / 藤本ハルミ

42 経済がケツトジャーナル

45 技術ジャーナル / 遠田博樹

46 特集①神戸ライフとハウジング

座談会 / 水谷靖介 / 近藤忠吉 / 永田良二 / 後藤雄一郎

特集② KOBÉ & MY TOWN

52 神戸のモダンライフを楽しむ家々を訪ねて

特集③住まいの10番

66 地域との対話 / 佐谷弘 / 滝川博司

70 ファッションズポット

76 神戸夜景 / カメラ・山口 清

103 今月の催しもの案内

104 動物園飼育日記 (13) / 亀井一祝

105 国吉雄雄 / 伊藤 誠

110 KFS ニュース

113 神戸の話題①ファッションフェア②ファッションコンテスト

118 神戸を福祉の町に (23) / 橋本 明

120 心のこも O L D K O B E (14) / あちはしげる

122 ファッションエッセイ (一) / 寺井秀藏

125 神戸の街いから

126 プロフェッサーの研究室 / 田田 淳

128 ニューヨークからの便り (27) / 竹田洋太郎

130 読者立見屋 (46) / 蓮川 昌治

132 女性百景 (40) / H シュニア / ス・渡野俊一

134 びっとい

137 神戸百貨会だより

138 ボケットジャーナル

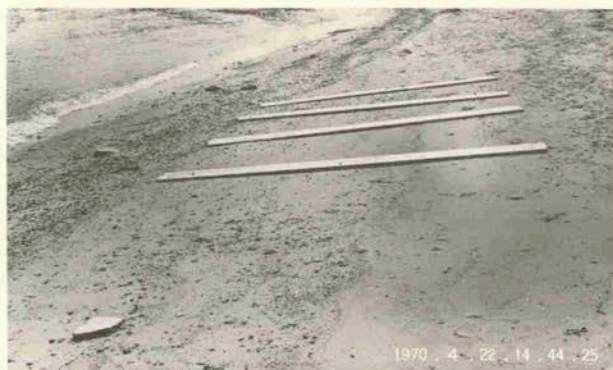
140 連載小説 / まだ遅くない (25) / 華月 一郎 / ス・小西保文

142 T A L K & T A L K

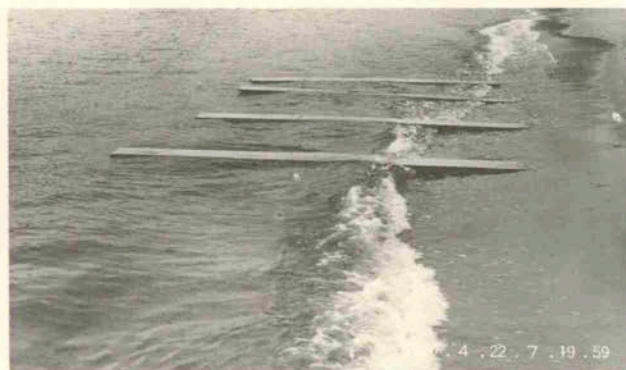
144 がエドコウベ / 灰谷健次郎 / カメラ・藤原保之

146 海船 / 神戸初人港のプリセンタム号

カメラ / 水田定蔵 / 藤原保之 / 立山 彰



1970 . 4 . 22 . 14 . 44 . 25



1970 . 4 . 22 . 7 . 19 . 59

〈陸と海〉河口龍夫 TATSUO KAWAGUCHI

# オリエンタル クリスマス グランド パーティ

'75

と き○昭和50年12月20日(土)

ディナー&ショー(17:30~20:30)

大人 20,000円 小人 10,000円(税サ込)

ダンスパーティ(22:00~MIDNIGHT)

お一人さま 15,000円(税サ込)



出 演○朝丘 雪路

○ミュージカルアカデミー

抽せん○全日空で旅行招待ほか豪華景品

ご予約・お問合せ

オリエンタルホテル 宴会課又は企画宣伝課

☎(078)331-8111 内線250・260, 227



トーリングハウス

モデルハウスが移転しました



トーリングハウス大阪

TEL (06) 393-6801 (代)





COFFEE  
&  
CHEESE CAKE

# 観音屋珈琲店

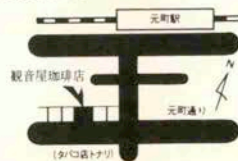


心静まる珈琲の香り



香り高きブレンド珈琲 ¥200 焼き立てのチーズケーキ ¥150

神戸元町3丁目  
元町山側東南地下となり  
TEL 391-4125  
AM 9 ~ PM 9 〈年中無休〉





★私の意見

# おじいちゃんと娘と

柳瀬 俊郎

△神戸市民生局長△



「おい、おいこの履物の抜き方は何だ、学校で作法を習はないのか」

「電話が鳴ったから急いだんやないの」

「急いだいうでも揃えるのに一秒もかかる訳がないやないか」

「急ぐときはこの抜き方が合理的なんよ、判っちゃいないね」

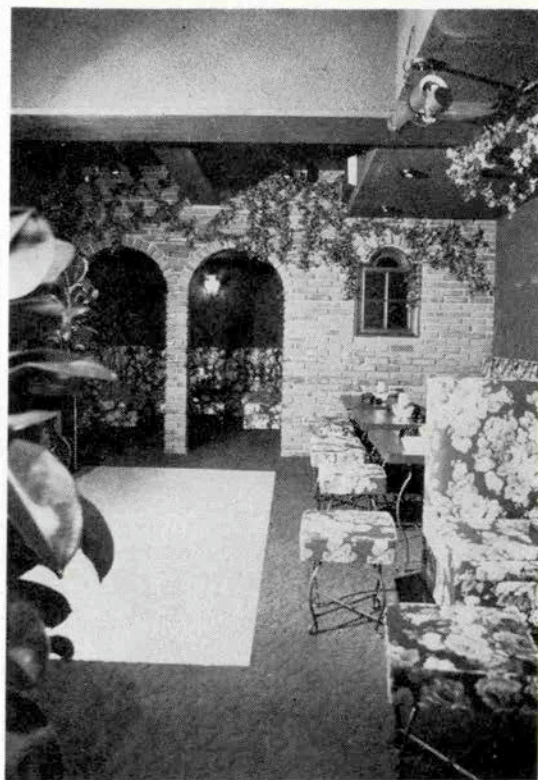
よくきかれるおじいちゃんと娘の口論である。いつもで話してもかみ合わないまま続行である。こんなときおじいちゃんは娘の履物をソツと揃えてやっておいたらどうだろう。「ケシカラン」と思はれるご仁もあるかもしれないが……。娘もまた「ハイ、これから気をつけます」といえないものだろうか、些細なことのように、大きい距離があるようにも思えてならない。よくいわれる「老の一撤」というやつかな、永年に身についてた考え方や行動が新しい環境にとけこめず適応できないところに問題があるのだろうか、いわゆる「世代の断絶」というやつだろう。

物質文明はすばらしい変革をとげた。しかしこのことが家族や地域社会、ひいては人間社会の相互の疎外感をどんどん広げていく、といったことが原因だとは思はない。要はそれぞれの心のもち方の問題だろう。人間の心がそう簡単に変ってはたまらない。

「若いもんは口ばかり達者で人の意見をきく気が全然ない」

「おじいちゃんは何でも私のいうことを理解したことがないじゃないの、深刻……」

まだまだ続く口論ではやりきれない、この辺でストップ。最近新聞を広げて「福祉」の記事が載らない日はないぐらいである、有難いことではある。ところで判っているようで判らないのが「福祉」であろう。結局のところ「福祉」とは「思いやり」「心のふれ合い」「たすけ合い」ということだろう。そしてこの「福祉」を向上させる単位は、と考えればそれは家庭であり地域社会である。



新しい神戸のナイトスポット (1)



貴 公 子

生田区中山手通 1 丁目富士産業ビル地階 TEL (242) 3901

BANJO HOUSE

生田区中山手通 1 丁目ソネビル 2 階 TEL (241) 6202

店舗づくりのプロフェッショナル

信頼される



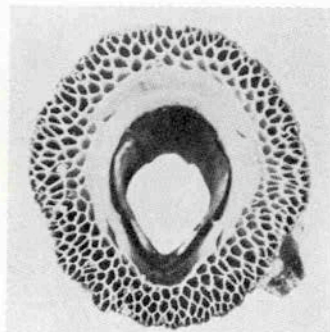
(株)神戸日建

神戸市葺合区御幸通 3 丁目 1

PHONE 078(251)3525(代)



# 随想三題



梶本正己写真集 I  
“残象”より  
「原子部品」

## 写真集“残象”に 想うこと

梶本 正己

△造形写真家△



好きな道を進んでゆけるとは、戦前派の私に想像も出来なかったが、念願の写真集の出版も終え、自分なりに一つの区切りをつけたことに安らぎを感じ、毎日よせられるご返事を持つことの楽しみを味わっている昨今である。

造形の定義は、人それぞれに見解が違ふ。眼さきの変った角度や写し方のものを造形写真といわれ

る場合もあるし、事物を転換させて写した作品にしても、どの接点からを抽象とし、具象とするか、その一線の引き方さえ種々雑多である。色んな主義主張の中で、対象物を如何に自己露呈のイメージに発展させ、新しい時限のメディアを作りあげるか、あるいはレンズと化学処理の可能性の限界に挑戦するかが造形を追求するものに課せられた問題である。

こうした考え方で、昭和四十二年に第一回個展を三菱ホームギャラリーオーブンに招聘され、なおかつ開催パーティを開いて頂いてから四十六年までに七回の個展を開き、私なりに造形写真分野を概念的に定着させた積りである。一方個展に関しては、案内状を出した方々と、周辺の限られた人々のご来場を仰ぐわけであるが、一週

間程度という催し物のもつ宿命ともいえる決定的な空しさを、回を追うごとにひしひしと感ずる。結論としては、印刷媒体によるのが最も合理的であるとの考えに至りその準備にとりかかった。さて一冊でも残るものとなれば、取捨選択の如何にむづかしいかを痛切に知らされ、一年二年はまたたく間に過ぎ去ってしまう。無所属者にとっては何らかのかたちで自己主張することが残された道であり、焦燥が日増しに加わってくる。最後の手段として発行日を決め、逆算して印刷所へ渡す日程を組む。

製作の方は、引伸しては破り、新しく撮影し、引伸す作業の繰返しに終始する。昨年暮れから四月いっぱいには夜も昼も執念だけが私を支えてくれた。五月にやって印刷所に渡すことが出来て、この段階からは狙いの上の鯉であり、船頭まかせの船旅である。そのひといきも束の間で、今後は自身に納得させたつもり オリジナルと印刷とのギャップが脳裏を沸々とする。オリジナルを見せなくてはという自我にかられて上京し、ペンタックスギャラリで八月五日からオリジナル展を開かせて頂くことに決め、本は八月一日発行とした。

さすが東京展である。各編集長や批評家の貴重なご批判を願えたとし、雑誌の執筆も頼まれ、ささや

かな記念会もすませて、帰神したものの、半年間のある種の社会との断絶が未だに頭のどこかで空転している。

友人の皆さんから神戸での原画展の催促もあって、幸運にも今年の十二月十八日からギャラリーさんちかでオリジナル展を開催させて頂くことになり、第一集の締めくくりが出来た充実した年となりそうである。

——自然は足もとから語りかけてくる 物みな命あり 素材である造形美を抽出し発見することから 私は出発する（残象より）

## WHAT DID I DO?

高山 房子

△ビジービー・ミュージシャン△

「着いた」ながいながい旅……。胸にはいつばいの期待、計画。ETC……。あの「風と共に去りぬ」の、ここが名所、アトランタノ、私の二十代最後の大作と思われるようなストーリーをここで転開しよう、朝の五時半すぎ、昇る太陽にむかって心に誓ってはみたものの、まず友人が用意してくれたのは、大作のプロローグにしてはちよっとお粗末なホテルというよりも、宿屋。しかしえてして大作というものは、こういう宿屋からの方

がふさわしい。朝日を受けたこの宿屋。時差で疲れきったこの私。これでイコ。——明日から歌をうたい、ピアノを弾き、見て、語って、歩いて、

私は必死で語りました。朝起きたら、まず自分のおしりを二発、パンノパンノ、とめぐり、それ英語に負けたらあかんよ、言葉で語れなかったら目で語りましょう、手もある足もある。五体全部で語ろうと。

私は見えました。アメリカ料理といわれるハンバーガー、フライドポテト、ステーキを物心ついた時からずっと一日も欠かす事なく今日まで食べてきたという証明を素直に肉体にまで表現したおじいさんが、ピンクの壁を背にして、ピンク色のソフトクリームを食べているのを……。それも大きな舌でペロペロと。その時、このアメリカ旅行、大作にならないだろうと予感がしました。

歩きました。アメリカの南部の町は西海岸のロスとかサンフランシスコと違い、商店街は、昔の元町六丁目、八丁目、高架下。ネオンサインのない新開地、そんな感じ。歴史的、政治的事情から黒い人がアトランタは多く、町には働いていないその人達が、皆ベンチにすわり、昼間街に買い物にいつでも何かとつても悲しく、また人

間ってなんだろうと、私に問うてくる町でした。

歌とピアノ。笑わないで下さいよ。私の友人はそのチャンスを充分に用意しておくという約束をしてくれていた筈なんだったのですが……。私が到着してから三日後に開店するという店がまだ出来てないのです。最初からへんだっただんです。まあ、この間、おかげで大工さん、ペンキ屋さん、衛生課酒屋さん、お肉屋さん、皆さんととても親くはなれましたが。そして三週間後に開店。ピアノがないというよりも置いてくれないのです。私、何しにきたのかなあ……。『ペコ、感謝するよ、ありがとう。ありがとう』と連発してくれるのですが……。それで「ピアノお願いよ」と言うと「OK」と、いつてくれるもの——ある夕方、一人で食事した町へ





## えびら会館での個展 大西 敏已

△洋画家・二紀会△



出ました。そしたらそのレストラ  
ンの裏側の大きなアメリカ的ごみ  
の横に「僕のピアノの使命は終り  
ました。明日、僕はピアノではあ  
りません。材木になっています。  
さよなら皆さん、お元気で」とい  
う姿をしたピアノがあるではあり  
ませんか。私はこの四十五日間の  
アメリカ滞在中、ピアノを弾いた  
のはこの日だけです。それも一曲  
と半分。大きな犬が寄ってきて聴  
いてくれたのを覚えています。さ  
て次の日から、朝おしりをたた  
いてみるものの、顔を洗いにいつ  
鏡をみると目で語れるだけの、あ  
のおメちゃんがあります。ソ  
ロソロお疲れです。その日、宣言  
しました。私、いついつ日本へ帰  
ると。アメリカ、アトランタ、緑  
の町。古き良きアメリカの姿をし  
た町。トリのいる町。リスのいる  
町。スクールのある町。レンガの  
町。教会の町。Tシャツの町。イ  
ブニングの、タキシードの町。私  
の見たアメリカは枚数制限の中  
で書けないです。日本からアトラ  
ンタまで遠かったんだなあ……。  
地球の半周は充分あるなあ……。  
店へでも困っているのです。  
「ベコちゃんアメリカ仕込みのを  
一曲!!」

私、アメリカではあのピアノだ  
けなんです。それと、あの犬ちゃ  
んだけなんです。すみません。

今年四月に開かれた「二十周年  
記念神戸二紀展」で、えびら会館

に於て個展を開催することができ  
る価値ある賞、えびら会館賞をい  
ただいた。

えびら会館が誕生したのは、四  
十六年三月。その間に、二勝展、  
美術、陶芸、華道展などの文化事  
業を行ってきた。時に神戸二紀会  
は、その拠点(月一回の例会、年  
一回の展覧会)として色々と大き  
な恩恵を受けてきた。ところが、  
生田神社会館という立派な会館が  
新築され、えびら会館は一時閉館  
されることになり、神戸二紀会は  
じめ他の文化事業にたずさわって  
いる人たちにとって残念である。

さて私の個展であるが、神戸二  
紀会のおかげで、個展を開催する  
ことができた。活気あふれる積極  
的な神戸二紀会の諸先輩諸兄が、  
我々新人の育成に務めて下さり、  
私に意欲を湧かしたさせて下さった  
り、個展のパンフレットの作成、  
搬出入、陳列、オープニングパー

ティなど、二紀会の支援あつての  
個展であつた。いつの間にかたま  
った大作と新作小品に囲まれた会  
場にいると、作品が私に語りかけ  
てくれる。作品たちが娘のような  
気持ちになる。作品と鑑賞者との  
対話は、私とではなく独立した娘  
と話をしていることになり、それ  
をほほえましく眺めていた。売却  
するときの気持ちは、親が娘を嫁  
にやるような複雑な感情をも味わ  
う。三人の娘を持つ私には貴重な  
体験だった。鑑賞者と私との対話  
では、抽象画面からいろいろな形  
を求めてくれる。鑑賞の手がかり  
を求め、自分の世界をつくり、連  
想し、素朴なロマンを語ってくれ  
たことなど嬉しかった。楽しかつ  
た。二足のわらじをはいて、よく  
こんなに描きますね、と不思議が  
られ、また、いつ描くのですか、  
どうして月ばかり? と質問され  
た。

夜に描きます。夜はいいです。  
夜は何もかもが宇宙空間の中にと  
け込み、神秘の世界である。夜空  
には星があり、月もある。月は遠  
い昔から人類の友であり、あこが  
れの世界である。宇宙時代に入っ  
てアポロが飛んだ今も月は心に安  
らぎと感傷を与えてくれる。月へ  
の憧憬の詩情をより純化した作品  
をと努力している私にとって、意  
義ある個展であつた。

□ある集いその足あと

## 神戸東ローター

## アクト・クラブ

寺山 宣子

△クラブ奉仕委員長▽

第三六八地区神戸東ローターアクト・クラブ、これが我々の名称です。この組織は、現在全世界に大きく広がっています。

まずローターアクトとは何かありますが、これは、ロータリークラブによって提唱された一八歳から二八歳までの青年男女の集りで、その目的は定款にこう記されています。

地域社会に対する奉仕を通じ



同朋学園の子どもたちと運動会

て指導力と善良な市民精神とを育成し、かつ、国際理解と平和及び高い道德的水準を指導者たる資格及びその職業上の責務として受諾し、尊重することを促進すること。

このようなことを聞くと、コチコチのクラブのように思われがちですが、そうではありません。現在のクラブ人数は、三五名、甲南大学、甲南女子大学の学生を中心に活動しています。

組織は、五つの部門に分かれています。クラブ奉仕・国際奉仕・社会奉仕・職業奉仕・資金調達の五委員会です。

クラブ奉仕委員会は、親睦、広報及びその他適当と認められる事項につき責任を負い、活動として年二回の研修・親睦旅行、ボーリング・テニス大会、そして他ローターアクトクラブとの交流を行っています。

国際奉仕委員会では、会員間に地域社会の中に、及び他の地域において、国際理解を深める方法を考案し、活動では、年四回雑誌「シーズン」を発行。また、神戸市内海外留学生交換会などを開催しています。

社会奉仕委員会では、地域社会に奉仕するための計画を立案し、これを実行しております。年二回

神戸大丸前チャリティー・ブックフェア、摩耶山清掃ハイキング、献血、六甲同朋学園運動会企画、園児と共に走ります。

職業奉仕委員会では、実業並びに専門職業の断面についての情報を提供するという目的で、ロータリアンの卓論、職業アンケート調査などを行っています。

資金調達委員会では、適当な委員会と協力し、資金を必要とするあらゆるクラブ活動のための資金の調達を考案するもので、八月・十二月にダンスパーティーを行っています。

我々メンバーは、必ずこの五つの委員会に属し、メンバー全員で各委員会の考案した活動を行います。

現代社会において、テレビを見ても、新聞を開いても出てくる言葉は、「現代の若者は……」であります。悩み苦しみ自殺する若者、理論、主義と呼び爆弾を作る若者、真夜中道路に暴音を出しながら走る若者……、しかし、我々も若者と呼ばれる一員であります。だからこそ、我々各自は自分達の行動に誇りを持ち、エネルギーをぶつけているのです。

我々のクラブこそ、まさに現代つ子の集ったクラブなのです。




「新 栗」

# マロングラッセ

粒選りの丹波栗を  
手作りでしあげた  
最高級の洋菓子  
神戸風月堂のマロングラッセ



 **神戸風月堂**

神戸市生田区元町3丁目

TEL 391-2412・321-5555

美術 古美術  
刀剣 骨董  
書画



十六間小星甲  
¥450,000

鑑定 買入  
刀剣研磨その他工作  
一カ月仕上 是非ご用命下さい

神戸市生田区元町通6丁目25番地

刀 古美術  
剣 美術  
美 骨董

**元町美術**

〒650

TEL078-351-0081